田原市立泉小学校　令和５年度１月号　　令和６年１月３０日

泉小だより

清美 校訓

学校教育目標　心豊かでたくましい子　〇深く考える子　〇がんばりぬく子　〇助け合うやさしい子

大地震や大津波に備えるために

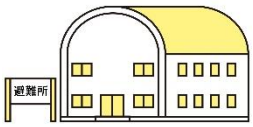
校長　小野　勇一

令和６年１月１日、最大震度７の揺れを観測する能登半島地震が発生しました。被災地では甚大な被害に見舞われ、多くの尊い命が失われました。大切な家族や仲間を亡くし、生活の場や大切な物を失い、厳しい寒さの中、今なお不自由な生活を余儀なくされている被災者の皆さん・子どもたちを思うと、胸が痛みます。

１月９日の始業式、地震により亡くなられた方々のご冥福を祈り、全校児童で黙祷を捧げました。被災者の皆さんが少しでも安心して生活ができるよう、復旧・復興が早く進んでいきますよう、切に願います。

一方で、今回の地震は「今ある私たちの幸せな生活は、いつ大地震によって狂わされるかもしれない」という警笛であり、決して他人事ではないと痛感しました。もし私が珠洲市や輪島市などで小中学校の校長をしていたら、どうしていたのであろうと考えてみると、ぐるぐると頭を悩ませてしまいます。

・　児童や職員の安否確認
・　避難所の設営や運用、職員の勤務体制等
・　臨時休業期間への措置
・　子どもの学びを止めない対応
　（オンライン授業、集団避難など）



この地方において、もし南海トラフ大地震や大津波が発生したら、過去の大震災に匹敵する甚大な被害が起きてしまうことも予想されます。そのような時、泉小学校では、一番大切な児童の安否確認すら、果たしてすぐにできるのか、どんな手段で確認することができるのかと、心配になります。

こうした予測できない事態に対して、地域に集う大人たちが知恵を出し合い、やるべき対策や必要となるであろう準備等を考えて、一つ一つ整えていくことで、防災に強い町・地区になるのではないでしょうか。

「地域とともにある学校づくり」をめざすコミュニティ・スクールの仕組みを生かして、今後の地域防災についても話し合いをしていきたいと考えています。

―　お知らせ　―

田原市立泉小学校のブログへようこそ！

学校ブログでは、教育活動や授業、子どもたちの様子をお伝えしています。泉小だよりでは、学校としての考えや方針などとともに発信していますが、ブログではタイムリーな話題をアルバムのように更新しております。是非ご覧ください！

QRコードはこちらから

― 自分の目標に向かって粘り強く！「なわとび大会」 ―

１月１９日（金）、なわとび大会を実施しました。本年度より、学年課題種目を「チャレンジなわとび」へと変更し、自分自身で挑戦するなわとび種目を決めることにしました。また、全校課題である連続跳躍での前とびは、「前とびマスター」と名称を変え、設定時間を少し長くしました。本年度のねらいは、次のとおりです。

○　自らの目標に向かい、地道に練習に取り組み、なわとび技能・体力の向上を図る。

「チャレンジなわとび」への参加は１人１種目とし、１分間で何回とべるかを競います。途中で何度引っかかっても数は加算します。また、種目・低中高で定めた規定回数を超えていることを条件とし、低中高で各種目１位を表彰します。

たてわり班ごとに並び、種目ごとに参加者が班の前に出てチャレンジしていったので、どの班からも仲間を応援する声が響き渡りました。声援に応え、なわとびに挑戦した子どもたちによって、１分間の熱い戦いが繰り広げられました。

「前とびマスター」では、全校児童が一斉に挑戦をし、低中高で設定された連続跳躍時間を目指してとび続けようとがんばりました。簡単なようで、息が苦しく、体力や精神的な消耗が厳しい種目です。どの子も、苦しさや弱い心に負けぬよう、粘り強くがんばり抜くことができました。

《なわとびチャレンジの部》

＜前とび＞
１年　１４８
＜後ろとび＞
２年　１０８、４年　２１２、５年　１１６
＜あやとび＞
２年　５８、３年　６９、３年　６９、
５年　７０
＜後ろあやとび＞
４年　５８、６年　４７
＜交差とび＞
２年　５６、２年　５６、３年　１２６、
５年　８９
＜後ろ交差とび＞
６年　１４０
＜二重とび＞
２年　９４、４年　７８、５年　１０３
＜あや二重とび＞
４年　８０、６年　５４
＜交差二重とび＞
６年　３６
＜後ろ二重とび＞
６年　２９、６年　２９

《前とびマスターの部》

＜低学年　２分間＞
１年　、　、
２年　、
＜中学年　３分間＞
３年　、　、　、　、　、
４年　、　、　、　、　、
＜高学年　４分間＞
５年　、　、　、　、
６年　、　、　、　、